

令和元年10月27日(日) 執行

女川町議会議員一般選挙 選挙公報

女川町選挙管理委員会



阿部 かつお

山林環境保全に傾注
町内小河川を再整備を検討し
基幹産業の主たる沿岸漁業
増養殖水産業に対しこの環境
整備対策を重視
ふるさと林道を県、石巻市
と連携し、早期に町道昇格認
定計画を実施し、町民の緊急
道路としての、位置付けとす
る。

漸宿地内には、老若男女が
集える健康対策コミュニケー
ション、運動広場の構築。



無所属・新人
ほり みのり
30 歳

皆さんの困りごと、抱えていること、
想い、聴かせて下さい！

- ① 町民バス増便や乗合タクシー導入など住民の足の確保
- ② ワンストップの何でも相談窓口の開設と相談員の養成
—生活やお金の不安、暴力・虐待・性被害、セクシュアリティの悩みなど、様々な困りごとについて一緒に解決する相談員の養成と相談窓口の開設を行います。
- ③ 子育て支援対策の充実
—小学生～思春期の子どものための電話相談に従事してきました。子どもたちの様々な声や想い、保護者の不安や悩みも受け止め一緒に考えます。
- ④ ひとり親家庭への支援の充実
—父親はほとんど帰ってこず、実質母親に育てられました。これまで沢山の人の支えてもらった分、何かできないかとXmasケーキを届ける活動をしてきました。女川でも同様の活動ができないか模索中です。
- ⑤ 原発に皆さんの想いを反映させたい
—今はまだ、どこかが引き受けなければならないと思うと、賛成も反対も言えません。ですが今後は自然エネルギーへ代えていく取り組みが必要だと考えます。
- ⑥ パートナーシップ制度の導入
—異性が好きな人も同性が好きな人も事実婚の人も、全ての人を対象とする婚姻と同等の社会保障の導入を目指します。

女川に新たな風を!!



すみた 翔しょう

スポーツを通じた魅力ある町づくり

- ・子供たちの健全育成
- ・各種大会や合宿などの誘致
- ・宿泊や地場産品への波及促進
- ・高齢者の健康と生きがい創出

人が集まる魅力的な町づくり

- ・子育て世代の身近な存在として暮らしやすい環境整備
- ・女川の自然豊かな環境を生かした観光振興
- ・水産漁業など基幹産業の発展
- ・活動人口増による移住促進

プロフィール

1983年5月3日生まれ
 千葉県市川市出身
 女川に移住して13年
 ■学歴
 習志野市立習志野高校卒業（2006年）
 駒澤大学経営学部卒業（2009年）

■職歴

(有)コバルトーレ（2006年～2008年）
 ワイケイ水産(株)（2008～2009年）
 (株)高政（2011年～2013年）
 (株)コバルトーレ（2013年～2019年）

■役職

石巻サッカー協会理事
 石巻専修大学非常勤講師
 元針浜仮設住宅自治会長

暮らしに希望の持てる町政を



阿部 りつ子

日本共産党

高齢者の方も若い方も、共に助けあ
 いささえあって、原発に依存しない、
 あたらしい、明るく笑顔あふれる町
 にしませんか。

阿部りつ子のお約束

- ◆女川原発1号機の廃炉が決まり、使用済
み核燃料の始末をする議論と住民総参加
の避難訓練の実施を。
- ◆国保税の引き下げ、介護保険の充実を図
り安心できる生活を。
- ◆デマンドタクシーを復活させ車を持た
ない世代への配慮を。
(3千万円の予算で実施できます)
- ◆グループ補助金返済延長など国・県・町
が支援をして漁業、商工業の生業再生に皆
さんと力を合わせて。

女川の明日に向かって 全カプレー!!



鈴木 よしのり

・女川電化センター代表・女川中学校PTA会長・女川町商工会商業部長
 ・女川商工業組合専務理事・女川・万石浦ヘルスポールクラブ総監督
 ・宮城県電機商業組合専務理事・宮城県スポ小野球協議会理事

🏟️ 教育

地域や社会が支える教育の推進で教育格差を無くす！
 社会で役立つ学びの場を創り、まちの未来へつなげる！

🏟️ スポーツ

新しい運動施設の早期完成と「スポーツの町女川」の
 復活で健康なまちと、観光・産業の振興へ

🏟️ 商工業

子育て支援策の充実を通じた産業振興と
 復興のその先へと加速させる持続可能な支援

🏟️ エネルギー

安全保障上および地球温暖化対策として、
 わが町にとって経済効果の高いエネルギーの推進



おながわに新しい潮風を！
みなさんの声
私の原点です！

みなさんの声をカタチにするサイクル



宮元
きよし
49才

明日がわくわくする町づくり

10の政策

子育て世代

- 1, 保育料すべて無償化へ
- 2, 子ども達が力強く生き抜ける心と体を育てます。

高齢世代

- 5, 安心・安全な地域づくり
- 6, 安定・潤いを感じる生活を推進します。

総合的な政策

働き世代

- 3, 町内事業所の安定した仕事と暮らしを守ります。(漁業者等)
- 4, 商店街の活性化を推進します。

- 7, 健康で楽しく暮らせるまちづくり
- 8, 震災後にできた、町と町民の温度差をなくします。
- 9, デマンドタクシーの再開
- 10, 災害時の避難道の確保 (国道398)

地域の声
議会・成果・取り組みを
みなさん・地域へ報告



町議会
みなさんの声を
カタチにし、分析
調査し、議会へ



みなさんの声をお聞かせ下さい。

健康なまちづくり



子育て世代



地場産業の振興
 子育て支援・教育の振興
 高齢者のいきがいづくり
 移住促進と関係人口の創出
 復興・創生期間終了を
 見据え、住民が不公平を
 感じず、笑顔あふれる
 まちづくりを目指します。



すずき
きよし
公義

『安心して住みよい町、希望ある町
…… 女川』



平塚
かつし

住んでいる人、関わっている人、一人一人が町の主役です。
皆さんが安心して暮らせるために、
私は次のことに全力で取り組んで参ります。

- ◎ 安心して子育てできる町
- ◎ 水産の町女川の復興
- ◎ 文化・文化財の伝承と保存
- ◎ 国道398号線 (石巻バイパス沢田区) の整備

(経歴) 昭和24年6月生 女川町女川出身
石巻高校・亜細亜大学卒業
元女川町職員 女川町監査委員 行政書士資格有



さとう良一

震災から八年七ヶ月が経過いたしました。まだまだ心の休まる事が出来ない人が多くいることを勘案しながら、町の発展と町民が安全・安心して暮らせる町づくりを前進しなければなりません。私は議会議員（二十八年間）として町民生活の福祉の向上等々、多くの課題に果敢に取り組み解決策を見出してきました。

「さとう良一」の俊敏な行動と実行力を心情に町民皆様の目線に立ち、世情の変化に伴う町民のニーズを把握し痛みのわかる政治を議会の場を通して推進いたします。また、本町の高齢化率も三十八%強となっており、多くの高齢者は国民年金暮らしで、貧富の格差が広がってきていることも事実ですが、行政に於いても高齢者の福利厚生施策を展開しています。私はそれらの施策の後押しをさらに強めてゆきます。今後の発展期に於いて次の課題に強力的に取り組んでいきます。

- 一、町民の健康寿命の延伸と高齢者の介護予防
- 一、若い世代の就労の場と定住促進
- 一、沿岸漁業の再生と後継者育成施策
- 一、商工業・加工業者の強力な支援政策
- 一、子育てしやすい環境と福祉の充実
- 一、教育環境と教育方針の改革と一貫校の役割

健康で、心豊かに、安心して、暮らせる町へ



無所属 木村 きみお

「人の為、町の為」に盡くしたい。そんな想いを胸に、弱冠三十四歳。女川町議会議員に当選以来約半世紀、五十年に亘る人生の大半を女川町政と共に道一筋に生きてきました。

あの東日本大震災により街が壊滅的に破壊され、生と死のはざまの中で得た尊い教訓を町民の皆様方と一緒に、「愛」と「情」を基本として、故郷の再生のため、執行部、議会、業界、町民が一体となる「四輪駆動」の精神で次の諸問題解決のため全身全霊をかけて議員としての職責を果たす覚悟であります。

- 更なるご支持、ご支援をよろしくお願い致します。
- 基幹産業・商工業・観光の振興による雇用の確保
- 交流人口の拡大と定住諸施策の充実強化
- 教育現場の環境整備と教育による「町おこし」
- 子育て世代の負担軽減と高齢者に優しいまちづくり
- スポーツ振興と施設の整備・拡充による健康寿命の延長
- 出島架橋工事の建設・島内環境整備の促進
- 石巻バイパス線沢田工区の建設促進

プロフィール

- ・昭和11年10月8日生
- ・専修大学経済学部卒業
- ・女川町職員
- ・34歳 町議に当選 8期
- ・女川町議会議長 通算3期 8年3か月
- ・全国原発立地市町村議会 議長会 副会長 3期 6年3か月
- ・宮城県行政書士

ふるさとの良さをいかして 希望 のもてる女川へ 皆さんの声をまっすぐ議会に届けます



高野 あきら 無所属 日本共産党推薦

東日本大震災から8年半がたちました。女川の町も、復興に向け、一步一步進み始めていますが、復興はまだ道半ばです。

私は、ふるさとの良さを生かして、みなさんと一緒に一致点で町政をすすめ、希望のもてる女川をめざします。女川原発再稼働に反対し、住民の命と財産を守るためにがんばります。みなさんのご支援をよろしくお願いいたします。

- 医療・介護の町民の負担軽減に努めます。
- 「地域おこし協力隊」の積極的活用など若者定住に積極的にとりくみます。
- 女川原発の再稼働を許しません。再生可能エネルギー転換で地域活性化をすすめます。
- グループ補助金の返済延長など、企業・商工業の生業を支援します。
- デマンドタクシーの復活をめざします。

●1972年生まれ ●石巻高校、県農業短期大学(畜産科)卒 ●舘ヶ森アーク牧場に就職、石巻民商事務局に勤務 ●退職後、萬事屋を立ち上げ、現在に ●両親と妻、一女、猫4匹と暮らす



11期44年、大変お世話になりました。私に倍するご支援を息子・高野あきらへお寄せください。

父・高野博

一緒に実現します

※この公報は、各候補者から掲載申請のあった原稿を選挙管理委員会で抽選により掲載順位を決定し、そのまま印刷したものです。

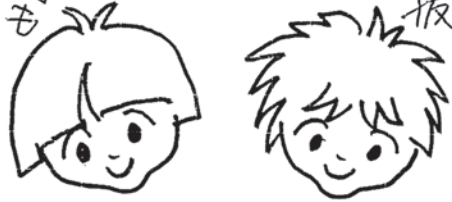
子どもたちに安全な未来を渡したい



阿部
みきこ

・原発に頼らず
 ・クリーンなエネルギー
 ・漁業・水産業振興
 ・交通手段の確保
 ・一人親世帯、
 子育て支援
 ・格差のない
 教育
 ・高齢者も
 障がい者も
 あらゆる性別も
 活躍できる町
 ・助け合うコミュニティ

みんな一緒に
 生きがいのある町を
 つくろう！



木村
清彦

した家賃の負担を減らす。市民のために
 住宅の確保。水川のため
 移住。住宅の確保。水川のため
 により。水川のため
 川を振興。水川のため
 女を展覧。水川のため
 たに。水川のため
 し町の。水川のため
 復興。水川のため
 復元。水川のため
 の。水川のため
 後の。水川のため
 笑。水川のため
 震。水川のため
 大。水川のため
 本。水川のため
 日。水川のため
 東。水川のため

健康が一番!!



佐藤
せいいち

主な政策

- ☆健康・体力事業の展開を行います。
- ☆児童・生徒の学力向上事業を推進します。
- ☆女川町花見山桃源郷構想を具現化します。
- ☆高齢者にやさしい町づくりの構築を目指します。
- ☆スポーツと文化の振興を進めます。
- ☆明るい子育て環境の整備を促進します。
- ☆図書室から図書館を目指します。
- ☆地場産業の振興を推進します。
- ☆公共施設の指定管理を推進します。
- ☆役場窓口業務の改善を提言します。
- ☆郷土資料の整備を推進します。
- ☆住民基本条例の必要性を提言します。

佐藤せいいちプロフィール

- ★昭和34年2月10日生まれ
- ★仙台大学体育学部卒業
- ★元女川町役場課長職歴任
- ★宮城県東部スポーツ指導者協議会副会長
- ★石巻地区柔道スポーツ少年団協議会顧問
- ★(財)日本施設協会公認トレーニング指導士
- ★公益財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者
- ★東日本大震災女川町避難所総括課長
- ★女川柔道スポーツ少年団代表

座右の銘

「義を見てなさざるは勇なきなり」

※この公報は、各候補者から掲載申請のあった原稿を選挙管理委員会で抽選により掲載順位を決定し、そのまま印刷したものです。

投票日：令和元年10月27日(日)

投票時間：午前7時～午後7時

※第3投票区と第6投票区は午後6時まで

投票場所

ご自分の投票所は、投票所入場券にも記載しています。お間違えのないようご来場ください。

投票区	投票所	投票できる行政区
第1投票区	第四保育所	大沢区、浦宿一区、浦宿二区、浦宿三区、針浜区、旭が丘区
第2投票区	第一保育所	上一区、上二区、上三区、上四区、上五区、西一区、西二区、西区、黄金区、南区、小乗区、高白区
第3投票区	野々浜集会所	横浦区、大石原区、野々浜区、飯子浜区、塚浜区、小屋取区
第4投票区	女川町庁舎 エントランス ホール	女川一区、女川二区、女川北区、女川南区、大原一区、大原二区、大原三区、大原四区、大原北区、大原南区、清水一区、清水二区、清水三区、清水区、出島区、寺間区、江島区
第5投票区	宮ヶ崎集会所	宮ヶ崎区、石浜東区、石浜西区、石浜区
第6投票区	尾浦集会所	桐ヶ崎区、竹浦区、尾浦区、御前浜区、指ヶ浜区

第12回宮城県明るい選挙啓発標語 出品

すてないで じぶんのおもい つたえよう

女川小学校2年 さとう ゆい 佐藤 唯衣 さんの作品

投票日に投票所に行けない方は、期日前投票をご利用ください。

- ・ 期日前投票期間：10月26日(土)まで
午前8時30分～午後8時
- ・ 期日前投票所：女川町庁舎グランドフロア(七十七銀行女川支店側玄関正面)

